

1. 実施日： 2015年 月 日（ ） 校時
 ＊読みきれなかった場合には朝の一斉読書の時間などで読み、ワークシートを完成させておくよう指示する。
 2015年 月 日（ ） 校時
 ＊同日でなくてよいが、2回目はできるだけ間をあけず1週間以内に設定する。
 （交流会後の国語科のスピーチ実施日程との調整をはかる。）
2. ねらい： ①読書で得たことを共有する。
 ②意見を交換することによって作品の読みを深める。
3. 内 容： ①示された本（テキスト）の中から自分で選んで読む本を決める。
 ②同じ本を選んだ生徒で意見を交換し、読みを深める。
 ③読み取ったことをもとに国語の時間にスピーチする。
4. 実施内容 ①取組内容を知り、本を選ぶ。（選び終わったら、本を読む。）
 ②「読書交流シート」に記入し、互いの読み取りを交流する
5. 大まかな流れ

1/2時間

- ①事前にテキスト解題（かいだい＝作品についての簡単な説明）を生徒に配付して、取組み内容を簡単に知らせ、読みたい本の候補を3つ程度考えておくように指示しておく。（朝の会または前日の帰りの会）テキストは図書局員が昼休みにクラスに運ぶ。
- ②読む本を決定する。
 （事前に希望者がかたよった場合に調整する方法（“希望の少ない順に決定し、希望が多い場合にはじゃんけんで決定する”など）を確認しておく。）＜20分＞
- ③「読書ポイント」「読書交流シート」を配付し、選んだ本の読書ポイントに従って読書後に「読書交流シート」に記入するよう指示し読書をさせる。＜30分＞
- ④読み切れなかった場合には朝の一斉読書などを活用して読み切り、ワークシートを完成させておくように指示する。貸し出す場合にはブックカードに氏名を書き、担任の先生に提出。返却時に担任の先生からブックカードをもらいブックポケットに入れる。貸し出した本は次回（読書交流会②）に回収する。
- ⑤図書館のしおり・本の回収（読み切れた人）

2/2時間

- ①・図書館学習のしおり（「読書交流シート」）準備＜1分＞
- ②読んだ本ごとに座席を指示し移動する。＜4分＞
- ③指示された座席に移動して、司会を確認し、互いの読み取りを交流する。＜40分＞
 - ・司会は図書局員がいる場合には図書局員が行う。（図書局員には指示済み。）
 - ・司会選びに時間をかけないようにする。
 （例えば、図書局員がいない場合には生徒会役員、専門委員、班長の順で行うなどの指示をしておく。）
 - ・交流したことは各自が必要に応じてメモをとる。
- ④自己評価（「読書交流シート」）＜7分＞
- ⑤図書館学習のしおり・本（集団読書用テキスト）の回収＜5分＞
 - 図書館学習のしおり→国語科教科担任へ
 - 本 →図書局員が学校図書館へ。（放課後）
 - 図書局員がいない場合には学級で指示してください。